

問 市長任期中、何を变えるのか。明確な決意を伺う。

答 鹿角の自然・文化・再エネの強みを生かし、攻めと守りを両立した市政で挑戦と投資を進め、誇れる持続可能なまちを目指す決意である。



風力発電事業の位置づけ及び合意形成について

問 風力発電は産業政策、ゼロカーボン戦略、企業誘致政策の中でどのように位置付けているのか。推進する場合の基本スタンスについて明確に伺う。

答 鹿角市エネルギービジョンでは、市民・事業者・行政が主体となり再生可能エネルギーの最大限導入を進め、地元企業の受注拡大や関連産業育成を図る方針としている。企業誘致戦略でも関連産業の誘致を推進する

一方、大規模開発は自然・文化・産業との調和を重視する考えである。

問 市立小中学校の再編は、どのような方向性で進めるのか考えを伺う。

答 少子化により、児童生徒数の減少が続き、学校や学級の規模化が懸念されるが、思考力や判断力、社会性を育むためには一定の学習集団の確保が重要と認識している。教職員の協力体制の確保やPTA負担軽減にもつながることから、児童生徒にとって望ましい教育環境の整備を最優先に再編計画を策定していく。



録画配信はこちらから

(会派) **新時代かづの** 質問時間 60分
(湯瀬 弘充 議員)

- 質問した項目
- 市政運営の基本姿勢について
 - 医療政策及び地域医療体制について
 - 企業誘致及び産業政策について
 - 風力発電事業の位置付け及び合意形成について
 - 教育行政について
 - 市長の決意について

問 大雪の影響でリンゴ、桃の木、ビニールハウス等の被害が発生しているが、支援策について市はどのように進めているのか。

答 県が2月定例会に復旧等に係る予算案を追加提出している、本市でも協調助成を行う方向で検討する。



ふるさと納税について

- 質問した項目
- 市政運営について
 - 医療問題について
 - ふるさと納税について
 - 農業問題について
 - 畜産問題について
 - 教育委員会の取り組みについて
 - スキーと駅伝のまちづくりについて
 - 廃校舎について
 - ほか

問 ふるさと納税は近隣自治体でかなり寄附額であり、本市の財政も逼迫の一途であることから真剣に取り組む必要があるが、本市の見解は。

答 寄附金の確保に向けては、すでに一部農産品での先行予約を開始しているほか、返礼品提供事業者の労務負担や中間経費の削減につながる方策を検討し、導入に向けた準備を進めている。寄附金の増額につながるためには、主力返礼品の

米やリンゴの確保数を増やすことが最も有効であることから事業者に協力をお願いしていく。

問 そばの作付はクマの誘引となると問題視されているが市の考えは。

答 農地保全と地域景観を維持するため、ソバ等の作付は効果的と認識しているが、クマの誘引を防ぐためには適期収穫の徹底や収穫後の速やかなすき込みの実施が重要であることから、ソバ農家に対する周知を徹底していく。



録画配信はこちらから